

農村ツーリズム展開方針

令和 2 年（2020年）10月 2 日
留萌振興局

1 地域の現状

- 留萌管内は、北海道の北西部に位置し 南北130km、東西60kmの南北に長い地域で、海岸線は「日本海オロロンライン」として親しまれ、暑寒別天売焼尻国立公園などの景勝地を有する自然に恵まれた地域です。
- 全国有数の品質を誇る米を始め、北限のクリーンな野菜や果物、高品質な畜産物、甘エビやタコ等の新鮮な水産物など、バラエティ豊かな食材の宝庫となっています。
- 年間の観光入込客数は147万人（R1年）で、道内客が133万人（全体の91%）、日帰り客が133万人（全体の91%）となっています。
- 地域における体験観光を推進するため、国の農山漁村振興交付金を活用して、留萌市と小平町では推進協議会を設立し、体験プログラムの提供を始めています。

2 地域の抱える課題

- 留萌管内の観光客は、夏期に集中する季節偏在や日帰り旅行者が多くなっており、道内外の幅広い誘客や交流人口の一層の拡大を図る滞在型・通年型観光を推進する取組が求められています。
- 管内では、留萌市と小平町に推進協議会が設立されたものの、他市町村で地域ぐるみでの取組につなげていくためには更なる地域内の機運醸成を図る必要があります。
- 教育旅行の受入について、農泊を希望する学校側のニーズはあるものの、受入可能な農家数が少なく掘り起こしを図っていく必要があります。

3 今後の展開方針

- 豊かな自然や多様な食材など地域資源を最大限活用し、地域ぐるみで農泊や教育旅行に取り組む留萌ならではの農村ツーリズムを推進します。

（具体的展開）

- ・令和 2 年に全線開通した「深川・留萌自動車道」を活用した新たな広域観光ルートの構築や観光メニューの開発を行うとともに、魅力的なコンテンツを積極的に情報発信します。
- ・農村ツーリズムに係る先進事例の情報提供やセミナーの開催など気運醸成を図るための取組を推進します。
- ・教育旅行等の受入可能な農家の増加に向けて受入勉強会を開催します。
- ・国の農山漁村振興交付金（農泊推進対策、農山漁村活性化整備対策）等の活用について、事業制度の周知や関係者への助言・指導を行います。